

## 8-1-10 広報事業専門委員会

### 1. 主な活動の記録

中期行動計画（2014～2018）で広報事業専門委員会が担務する施策1-2 “1-11 魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進”に沿って、平成28年度計画を立案し、各委員で分担して下記の事項を実施した。

#### (1) 広報事業専門委員会の開催

委員会開催回数：10回（8、3月は休催）

#### (2) 学生懸賞論文および建コンフォト大賞の募集・表彰

学生懸賞論文および一般対象の「第8回建コンフォト大賞」、中・高校生対象の「第4回建コンフォト大賞Jr.」を実施した。審査の結果は、会誌「Consultant」および協会ホームページ（以下、HP）に掲載した。

#### (3) 建コンフォト大賞入賞作品の活用による広報活動

平成29年1月13日から1月19日の期間で、東京ミッドタウン“富士フィルムフォトサロン東京”にて建コンフォト大賞及び建コンフォト大賞Jr.の入賞作品展示会「暮らしの中の土木」を開催し一般多数のご来場の方々から好評を頂いた。



東京ミッドタウン  
「暮らしの中の土木」

また、学生への直接的広報の機会として、11月3日（日）に日本大学理工学部祭で開催された「Civil Expo 2016」にて、第6回・第7回建コンフォト大賞入賞作品の中から選抜した作品による展示会を開催戴いた。さらに、8月上旬の1週間、首都高川口PA休憩施設内で、第7回建コンフォト大賞入賞作品による展示会を開催した。加えて、協会HPの建コンフォト大賞の広報ページの作品ギャラリーを更新した。

#### (4) その他

各号発刊毎に協会誌のモニタリングを行い、意見を会誌編集専門委員会へフィードバックした。さらに、会誌編集専門委員会が12月に発刊した書籍「土木遺産V」の企画・編纂・発刊準備の支援と共に、広報戦略委員会の要請により協会カレンダー製作に伴う作品データの収集と提供、原稿確認、「建設コンサルタント白書」のグラビア原稿作成を実施した。

### 【学生懸賞論文および建コンフォト大賞の審査結果】

#### a) 懸賞論文（学生論文）

##### テーマ（2つより選択）

- ①「これから必要な土木施設とは？」
- ②「安全・安心に暮らせるまちづくりとは？」

応募結果 総数：24編（うち理工系24編）

審査結果（5月協会総会にて表彰を予定）

最優秀賞：1編

「付帯施設のIoT化と高質化による新しい道路空間のあり方の提案」高柳 誠也氏  
（東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻）

優秀賞：1編

「愛のある空間づくり」三輪 潤平氏  
（京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻）

特別賞：2編

「立地適正化計画を利用した「安全・安心に暮らせるまちづくり」野本 明里氏  
（長岡技術科学大学大学院工学研究科環境社会基盤工学専攻）

「防災教育と地域のつながりから生まれる安全・安心なまち」岡田 麻友氏  
（宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科）

#### b)（一般の部）第8回建コンフォト大賞

テーマ「あなたのお気に入りの“土木施設”」

応募結果 総数：288点

##### 審査委員

委員長代理：宇於崎 勝也（日本大学准教授）

審査委員：知野 泰明（日本大学准教授）

初芝 成應（日本写真作家協会会員）

村田 和夫（広報戦略委員長）

審査結果（5月協会総会にて表彰を予定）

最優秀賞：1点（横田 直氏）

優秀賞：2点（山田 勲氏、野村 成次氏）

特別賞：10点



「水田鏡」  
横田 直



「七変化を演出」  
山田 勲



「紺碧の空に」  
野村 成次

#### c)（中・高生の部）第4回建コンフォト大賞Jr.

テーマ「“土木施設”を探せ！」

応募結果 総数：91点

審査委員 宇於崎 勝也（一般の部審査委員長代理）

広報事業専門委員会 委員（11名）

##### 審査結果

Jr. 最優秀賞：1点（米島 菜津美氏）

Jr. 優秀賞：2点（養田 純奈氏、津島 良伍氏）

Jr. 特別賞：10点

## 2. 次年度の活動について

中期行動計画（2014～2018）施策1-2「魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進」の施策に沿って、学生懸賞論文・建コンフォト大賞募集・表彰、建コンフォト大賞入賞作品の活用による広報を中心に活動する。

（広報事業専門委員会委員長 米岡 威）